

PRESS RELEASE 2024.07.23

特別展

九谷赤絵の極致一宮本屋窯と飯田屋八郎右衛門の世界―

The Finest of Kutani Reds, The exquisite world of Miyamotoya Kiln and master painter, lidaya Hachirōemon

赤絵の技法は、中国の宋赤絵を起源とし、江戸時代に日本に伝わりました。九谷焼においては、 江戸時代前期の古九谷を経て、江戸時代後期に現在の石川県加賀市で開窯した再興九谷の宮本屋窯 (1832~59) において大成し、明治期に「ジャパンクタニ」として世界に名を馳せた輸出九谷の 誕生や発展につながりました。さらに、九谷赤絵の技術は飛騨の渋草焼(岐阜県)、近江の湖東焼 (滋賀県) 、越前の三国焼(福井県) などの窯業地にも伝播しています。

宮本屋窯の赤絵は、黒みがかった赤(俗称・血赤)で文様を細かく描き込んだ赤絵細描と、金彩 ととともに赤以外の上絵釉を用いたことを特徴としています。また、画題の一部に、中国・明時代 の墨の文様集『方氏墨譜』から着想を得たことで独自性を生み出しました。宮本屋窯の主画工・飯 田屋八郎右衛門(1801~48)は赤絵細描に優れた手腕を発揮し、宮本屋窯は別名「飯田屋窯」と も呼ばれています。

本展では、これまでまとまって取り上げられる機会の少なかった宮本屋窯の作品を一堂に会して 紹介します。細密描写を実現した高い技術力、独自の意匠性による豊かな表現世界をお楽しみくだ さい。

展覧会の見どころ

- 1. 江戸後期から広がりを見せた九谷赤絵。中でも、宮本屋窯はその発展に大きな影響を与えま した。これまで九谷赤絵を取り上げた展覧会は多く開催されていますが、宮本屋窯に特化し た展覧会は少なく、貴重な機会といえます。
- 2. 現在の赤絵細描につながる赤絵細密描写の鼻祖ともいえる宮本屋窯。その細かさはまさに 超絶技巧、高い技術力をお楽しみください。
- 3. 宮本屋窯の製品デザインに多大な影響を与えた中国の墨のデザイン帳『方氏墨譜』と宮本屋窯 の主画工・飯田屋八郎右衛門が描いた『八郎墨譜』。本展では、宮本屋窯のデザインソースも 取り上げその魅力に迫ります。

展覧会構成

第一章 宮本屋窯と飯田屋八郎右衛門

飯田屋八郎右衛門は、窯主・宮本屋宇右衛門に招かれ 宮本屋窯の主画工として活躍し、中国趣味を反映した画題 と緻密な描写よって宮本屋窯に独自の作風を作り上げま した。本章では、出品作品の中から選りすぐりの宮本屋 窯作品を紹介します。



宮本屋窯《蓑亀図鉦鉢》



宮本屋窯 江戸時代(19世紀) 本善寺蔵《丸抜獅子人物図芋頭形急須》 江戸時代(19世紀) 個人蔵

PRESS RELEASE 2024.07.23

第二章 宮本屋窯の成立

天保2年(1831)、現在の石川県加賀市の山代温泉郊外で操業していた再興九谷の吉田屋窯が閉窯すると、天保3年(1832)、宮本屋宇右衛門が窯の経営を引継ぎ、同地に宮本屋窯を開窯します。本章では宮本屋窯開窯までを九谷諸窯の作品を交えて紹介します。

若杉窯 《呉州赤絵写し花鳥図 平鉢》 江戸時代(19 世紀) 石川県九谷焼美術館蔵



吉田屋窯 《六歌仙図額鉢》 江戸時代(19 世紀) 石川県九谷焼美術館蔵

第三章 宮本屋窯の諸相

宮本屋窯では最も多く伝世する鉢のほか、水指や香合、 蓋置といった茶の湯の道具や、煎茶用の急須、筆筒など の江戸時代後期に流行した文人趣味を反映した器、水注 や盃などの酒席に用いる器も作られました。本章では、作 品に描かれた意匠とともに宮本屋窯の作域の広さを示す 多様な器種を紹介します。



宮本屋窯 《雲龍図木瓜形蓋置》 江戸時代(19 世紀) 個人蔵



宮本屋窯 《鶴亀福禄寿図平盃》 江戸時代(19 世紀) 個人蔵

第四章 宮本屋窯のデザイン

宮本屋窯の赤絵は中国の明時代後期(16世紀)に出版された『方氏墨譜』という墨の図案集と、飯田屋八郎右衛門が描き残した図案集『八郎墨譜』をデザインソースとしています。本章では『方氏墨譜』、『八郎墨譜』の図案とともに、同様の意匠が確認できる宮本屋窯の作品を紹介します。



宮本屋窯《八柱承天図鉦鉢》 江戸時代(19世紀)個人蔵



宮本屋窯《獅子に雲龍図額鉢 /(「文篁」銘)》 江戸時代(19世紀) 個人蔵

第五章 宮本屋窯の影響

宮本屋窯が作り上げた赤絵は、明治時代に人気を博した 輸出九谷の誕生や発展につながり、加賀のみならず能美 や金沢に端を発した技術・様式とも交流しながら、多く の人々の手によって深化していきました。本章では、宮本 屋窯以後の作品によってその系譜の一端を紹介します。



竹内吟秋 《鶴亀福禄寿図輪花鉢》 江戸時代~大正時代 (19~20世紀)個人蔵



浅井一毫 《玉貂蝉玉魚珮図台鉢》 江戸時代~大正時代 (19~20世紀) 個人蔵

展覧会概要

展覧会名称: 九谷赤絵の極致―宮本屋窯と飯田屋八郎右衛門の世界―

英文名称: The Finest of Kutani Reds, The exquisite world of Miyamotoya Kiln and master

painter, Iidaya Hachirōemon

会 期:2024年9月7日(土)~11月24日(日)(68日間)

開館時間:10:00~17:00 ※入館は閉館の 30 分前まで

休館 日:月曜日

※ただし9月16日(月・祝)、9月23日(月・振休)、10月14日(月・祝)、11月4日(月・振休)は開館し、9月17日(火)、9月24日(火)、10月15日(火)、11月

5日(火)は休館

PRESS RELEASE 2024.07.23

観 覧 料:一般 1,200 円(900 円)、大学生 900 円(700 円)、高校生以下無料

※()内は、20 名以上の団体割引料金です。

※70 歳以上の方は半額になります。

※障害のある方は 75%割引、その介助者 1 名は無料になります。

会 場: 兵庫陶芸美術館 展示室 1・2・4・5

出品点数:約190件

主 催:兵庫陶芸美術館、丹波新聞社、九谷赤絵全国巡回展開催実行委員会

後 援:兵庫県、兵庫県教育委員会協 力:丹波立杭陶磁器協同組合

関連イベント

◆記念講演会「九谷赤絵の魅力 ―中国の赤絵と比較して」

講師/今井敦氏(東京国立博物館特任研究員、本展監修者)

- 日 時/9月14日(土) 13:30~15:00
- 会 場/当館研修棟1階 セミナー室
- 定 員/110名(事前申込制、先着順)

聴講料/無料(ただし展覧会の半券が必要)

◆九谷赤絵作家によるスライドレクチャー、実演見学、ワークショップ

- —— 講師 山本芳岳氏
- ○出品作品についてのスライドレクチャー
 - 日 時/11月16日(土)11:00~30分程度
 - 会 場/当館研修棟1階 セミナー室
 - 定 員/110名(事前申込制、先着順)

聴講料/無料(ただし展覧会の半券が必要)

- ○実演見学
 - 日 時/11月16日(土) ①13:00~ ②13:30~ ③14:00~ ④14:30~ 各回とも15分程度
 - 会 場/当館エントランス棟1階 工房
 - 定 員/各回15名(無料、事前申込制、応募者多数の場合は抽選)
- —— 講師 福島武山氏
- ○ワークショップ
 - 日 時/11月23日(土・祝)10:00~12:30
 - 会 場/当館エントランス棟1階 工房
 - 定 員/20名 (無料、事前申込制、応募者多数の場合は抽選)
- ○実演見学
 - 日 時/11月23日(土・祝) ①13:30~ ②14:00~ ③14:30~ 各回とも15分程度
 - 会 場/当館エントランス棟1階 工房
 - 定 員/各回15名(無料、事前申込制、応募者多数の場合は抽選)

PRESS RELEASE 2024.07.23

◆当館学芸員による展示解説

日 時/9月21日(土)、10月5日(土)、10月26日(土)、11月9日(土) いずれも 11:00 から 1 時間程度(観覧券が必要)

※各イベントに関する詳細は、お問い合わせください。

お知らせ

◆同時開催のテーマ展 「丹波焼の世界 season8」 開催中~2024 年 12 月 8 日(日)

◆次回展覧会

特別展「TAMBA NOW⁺ 2025」 テーマ展「重松あゆみ展」 2025年1月2日(木)~2月28日(金)

交通のご案内

[公共交通機関をご利用の場合]

・JR福知山線「相野駅」下車後(大阪駅から約50分) 駅前からウイング神姫(路線バス)「兵庫陶芸美術館」「こんだ 薬師温泉」または「清水寺」行き乗車約15分、「兵庫陶芸美術 館」下車

※相野駅発バス時刻 9:33、10:15、13:10、15:45、16:45 土・日・祝は 10:47、11:30、13:36 が増便 (2024年7月現在)

[自動車をご利用の場合]

- ・舞鶴若狭自動車道・三田西 I Cから約 15 分、 または丹南篠山口 I Cから約 20 分
- ・中国自動車道・滝野社 I Cから国道 372 号を東へ約 30 分
- ・阪神方面から国道 176 号を北上し、三田市四ツ辻信号を左折約 15 分
- ·駐車場無料 (敷地内 普通車 58 台分)、大型可



兵庫陶芸美術館

広報担当:企画・事業課 米倉陽子(ヨネクラヨウコ)

展覧会担当:学芸課 村上ふみ(ムラカミフミ)

〒669-2135 兵庫県丹波篠山市今田町上立杭4 TEL 079-597-3961 FAX 079-597-3967

E-mail: togei@pref.hyogo.lg.jp https://www.mcart.jp



特別展 九谷赤絵の極致一宮本屋窯と飯田屋八郎右衛門の世界一 2024年9月7日(土)~11月24日(日) 広報画像申込書

送信先 E-mail: togei@pref.hyogo.lg.jp Fax:079-597-3967 兵庫陶芸美術館 企画・事業課 広報担当宛

ご希望の画像番号にチェックを入れ、以下の項目をご記入の上、メールもしくは FAX でお送りください。



【画像使用に際しての注意事項】

- ◆本展覧会の広報用としての使用に限ります。
- ◆画像の掲載には、各作品のキャプションを明記してください。
- ◆画像の加工(作品の切り抜き、着色、文字載せ等)はご遠慮ください。
- ◆基本情報、画像使用の確認のため、ゲラ・原稿の段階で「企画・事業課」までお送りくださいます ようお願いいたします。
- ◆ご掲載媒体、もしくは URL を「企画・事業課」までご送付いただきますようお願いいたします。

貴社名:		媒体名:
所在地:〒		媒体種別: 新聞・雑誌・フリーペーパー・テレビ
		ラジオ・WEB・その他(
担当者名:		掲載予定日:
E-mail アドレス:		参考 URL:
TEL:	FAX:	

[※]読者プレゼント招待券は、写真を掲載し本展をご紹介いただける場合に限ります(最大 5 組 10 名まで)。 プレゼントの受付・発送などは貴編集部にてお願いいたします。